

決算説明会

(2005年6月期)

2005年8月22日

株式会社 アルバック

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、フラットパネル・半導体・電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

▶ 2005年6月期連結業績の概要

▶ 市場環境

▶ 2006年6月期連結業績予想

▶ 事業戦略

会社概要

■ 事業内容

▶ 真空関連事業

ディスプレイ及び電子部品製造装置

: FPD(液晶、有機EL、PDP)や電子部品製造装置

半導体製造装置

: メモリー、ロジック、化合物半導体等の半導体製造装置

コンポーネント

: 真空ポンプ、計測器、電源などの真空機器

その他

: 超高真空装置や真空熱処理炉など一般産業機器

▶ その他の事業

先端材料、表面解析装置、装置制御

: ナノメタルインク、ナノテク関連分析装置、制御システムなど

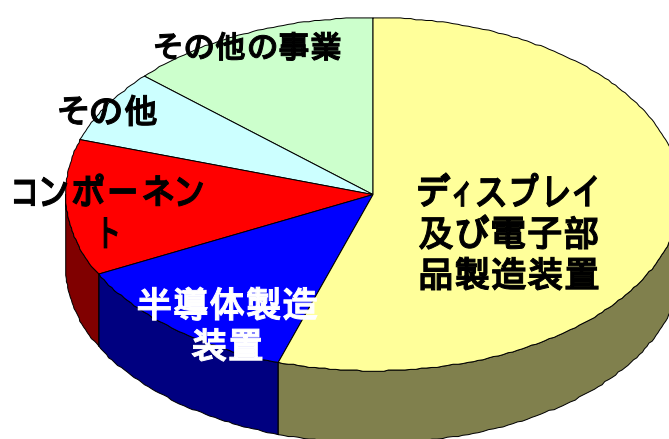
■ 05/6期実績(連結)

(単位: 億円)

売上高	1,968
経常利益	124
当期利益	71
株主資本	739
従業員	4,048名

■ 品目別売上高構成比(連結)

(単位: 億円)



1,080 (55%)
247 (13%)
250 (13%)
127 (6%)
264 (13%)

05/6期業績

(単位:億円)

	03/6期	04/6期	05/6期
受注高	1,478 (+37%)	1,782 (+21%)	2,062 (+16%)
売上高	1,275 (+1%)	1,579 (+24%)	1,968 (+25%)
売上総利益	241 (+18%)	300 (+24%)	407 (+36%)
営業利益	47 (+108%)	85 (+79%)	153 (+81%)
経常利益	36 (+78%)	73 (+105%)	124 (+71%)
当期純利益	17 (+159%)	40 (+129%)	71 (+81%)

[()内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入]

■ たな卸資産評価損

財務体質の健全性確保の観点から、たな卸資産評価損として、25億92百万円を計上

▶ 理由

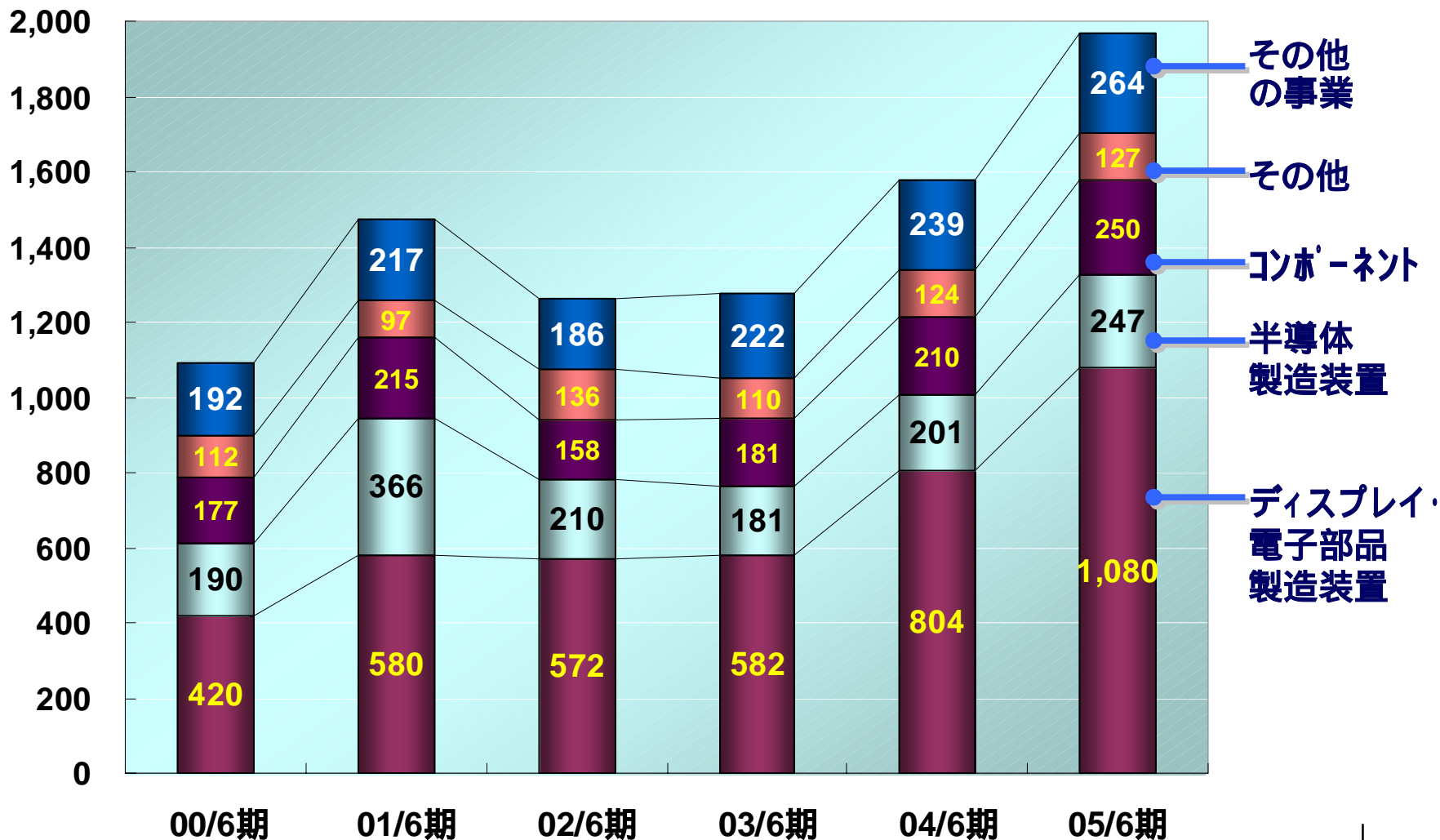
基板サイズの世代交代や技術革新の激しいディスプレイ製造装置、半導体製造装置に適用したため

▶ 主なもの

- ◆ 液晶ディスプレイ用スパッタリング装置
- ◆ 有機EL製造用蒸着装置
- ◆ 半導体製造装置用スパッタリング装置など

品目別売上高実績

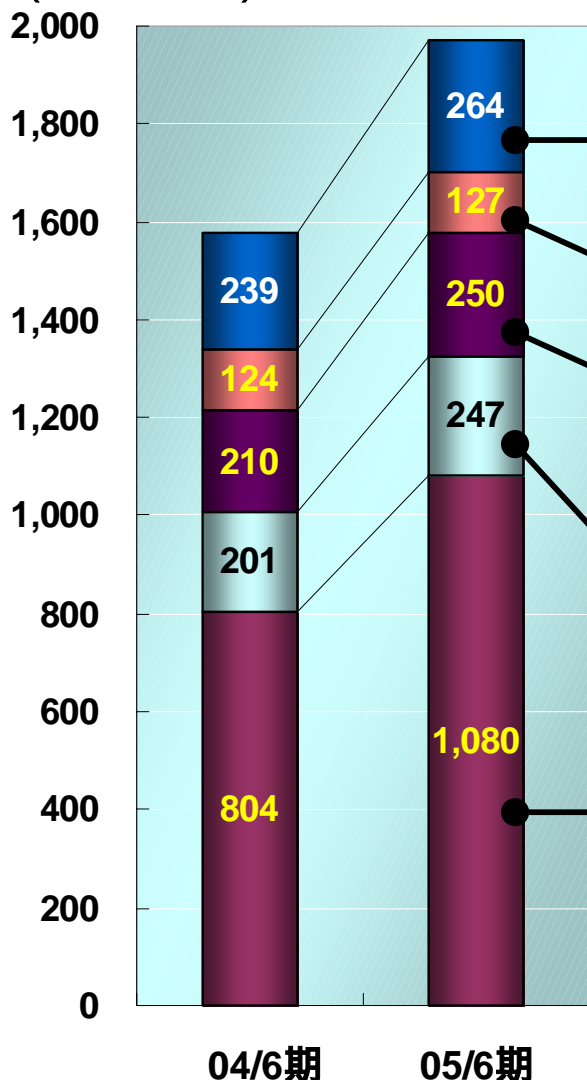
(単位:億円)



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

品目別売上高の推移

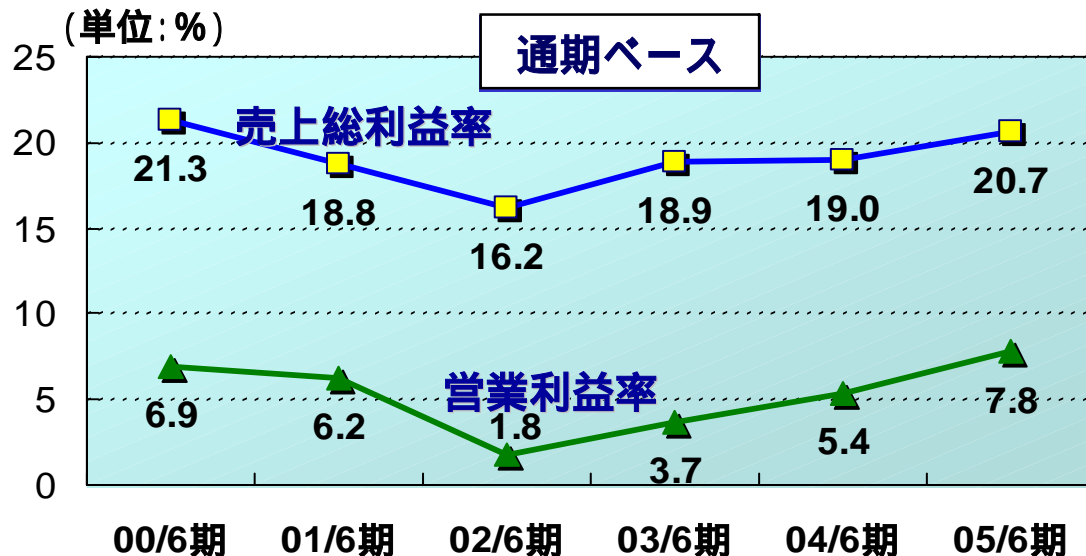
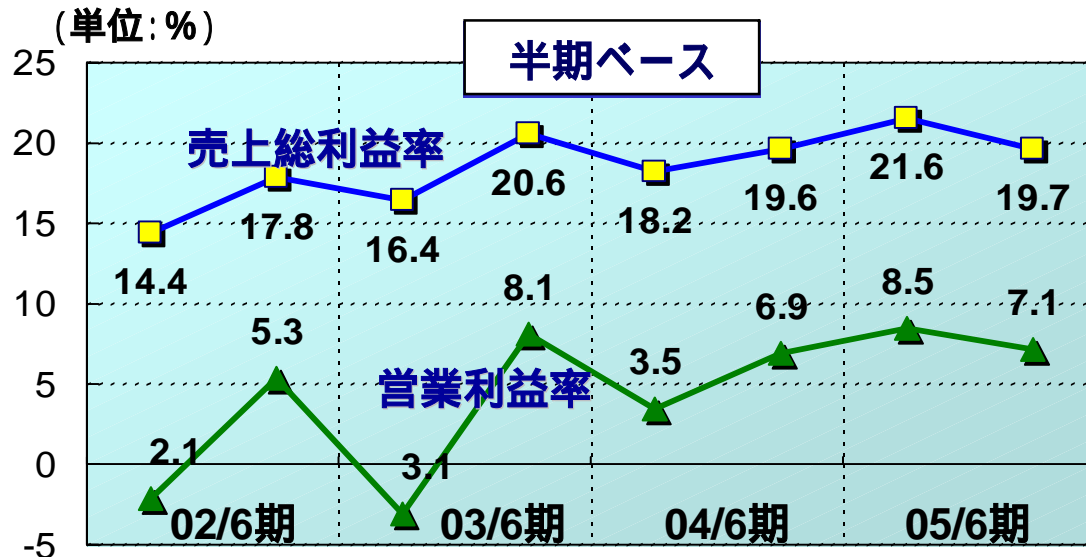
(単位:億円)



品目	増減率	背景
その他の事業	+11%	・液晶、半導体用ターゲット材、部品洗浄売上好調
その他	+2%	・巻取式真空蒸着装置売上拡大
コンポーネント	+19%	・FPD関連装置用ドライポンプ売上好調 ・空調、家電、自動車関連の真空ポンプ売上好調
半導体製造装置	+23%	・フラッシュメモリー、化合物半導体関連の売上拡大
ディスプレイ及び電子部品製造装置	+34%	・薄型(液晶、プラズマ)テレビ市場拡大によりプラズマ、5G~7G装置売上好調 ・電子部品製造装置の売上拡大

【増減率は百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

利益率の推移



(小数点以下第2位は四捨五入)

05/6期利益率分析

上期

- ・手離れのいい5G(中国、台湾)が利益率向上に寄与

下期

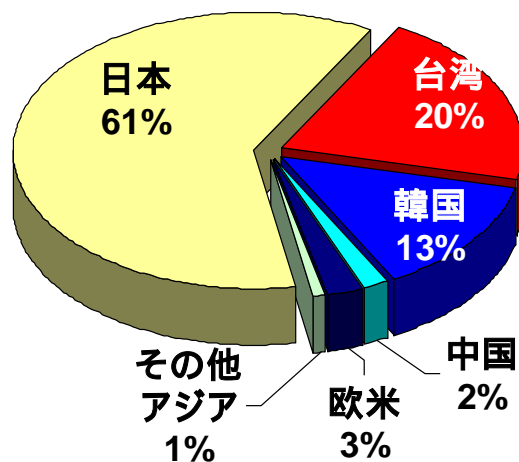
- ・6~7G(台湾・韓国)追加原価発生で利益押し下げ

通期

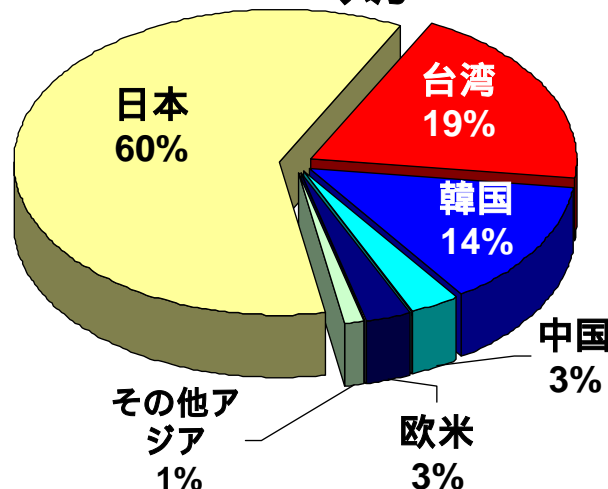
- ・諸経費の削減で固定の圧縮
- ・生産改革(標準化、集中購買など)によるコストダウン効果

地域別売上高構成比の推移

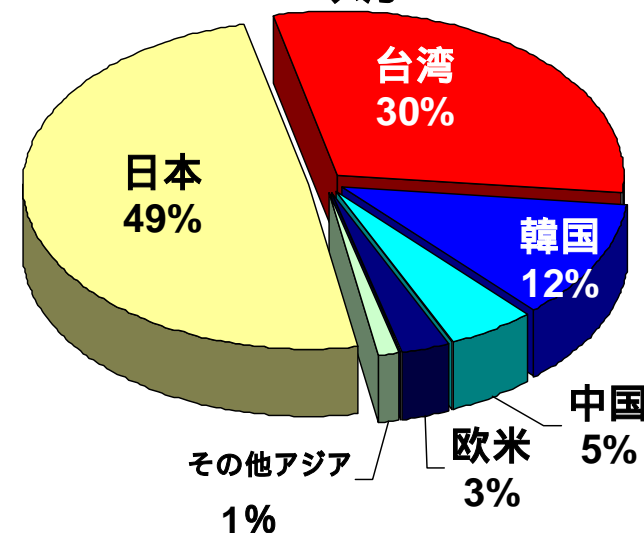
03/6期



04/6期



05/6期

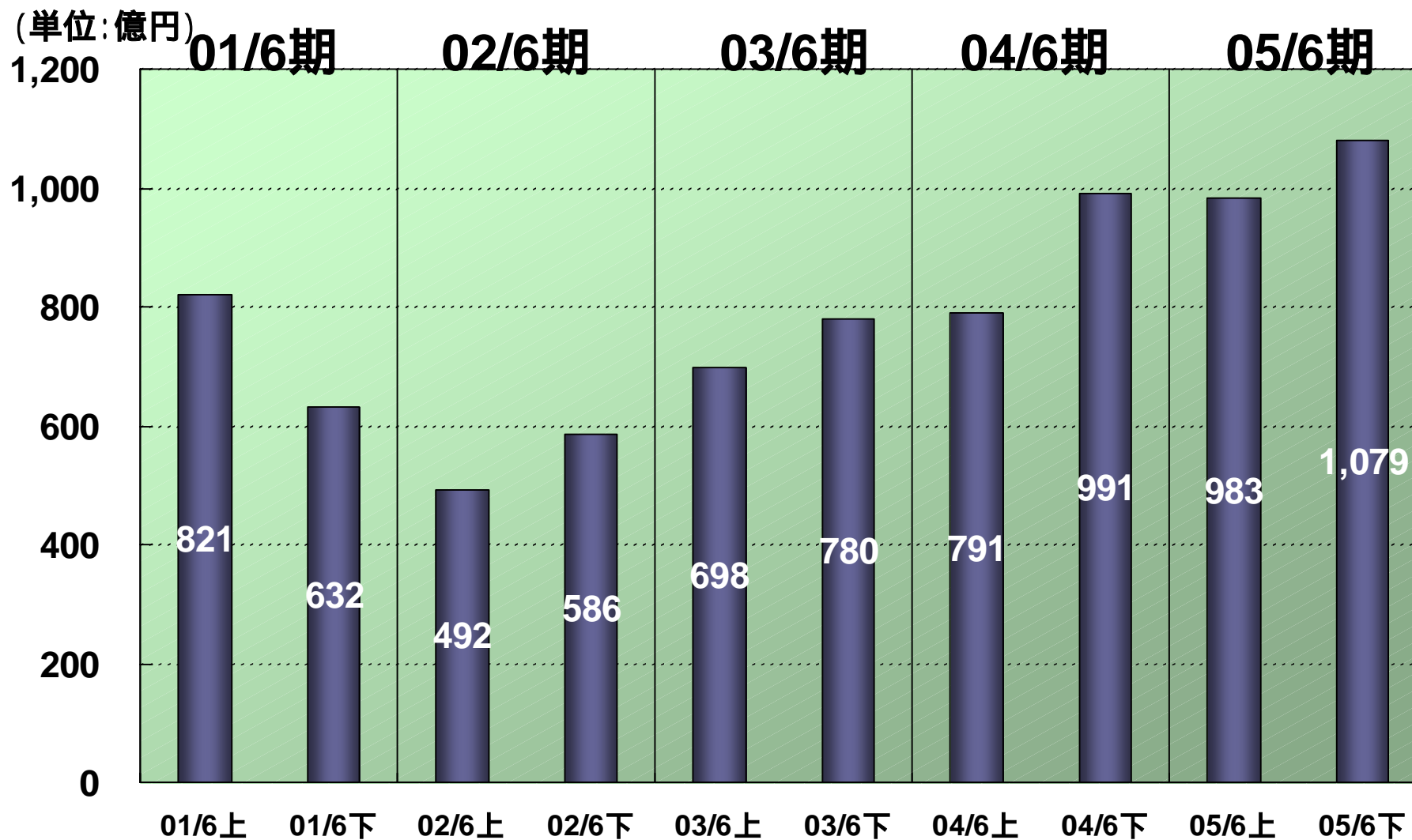


(単位:億円)

	03/6期	04/6期	05/6期
日本	773 (-12%)	953 (+23%)	968 (+2%)
台湾	261 (+78%)	304 (+16%)	597 (+96%)
韓国	172 (+98%)	211 (+23%)	231 (+10%)
中国	22 (-15%)	47 (+114%)	94 (+103%)
その他アジア	9 (-91%)	16 (+78%)	21 (+36%)
欧米他	38 (+58%)	47 (+23%)	57 (+20%)
合計	1,275 (+1%)	1,579 (+24%)	1,968 (+25%)

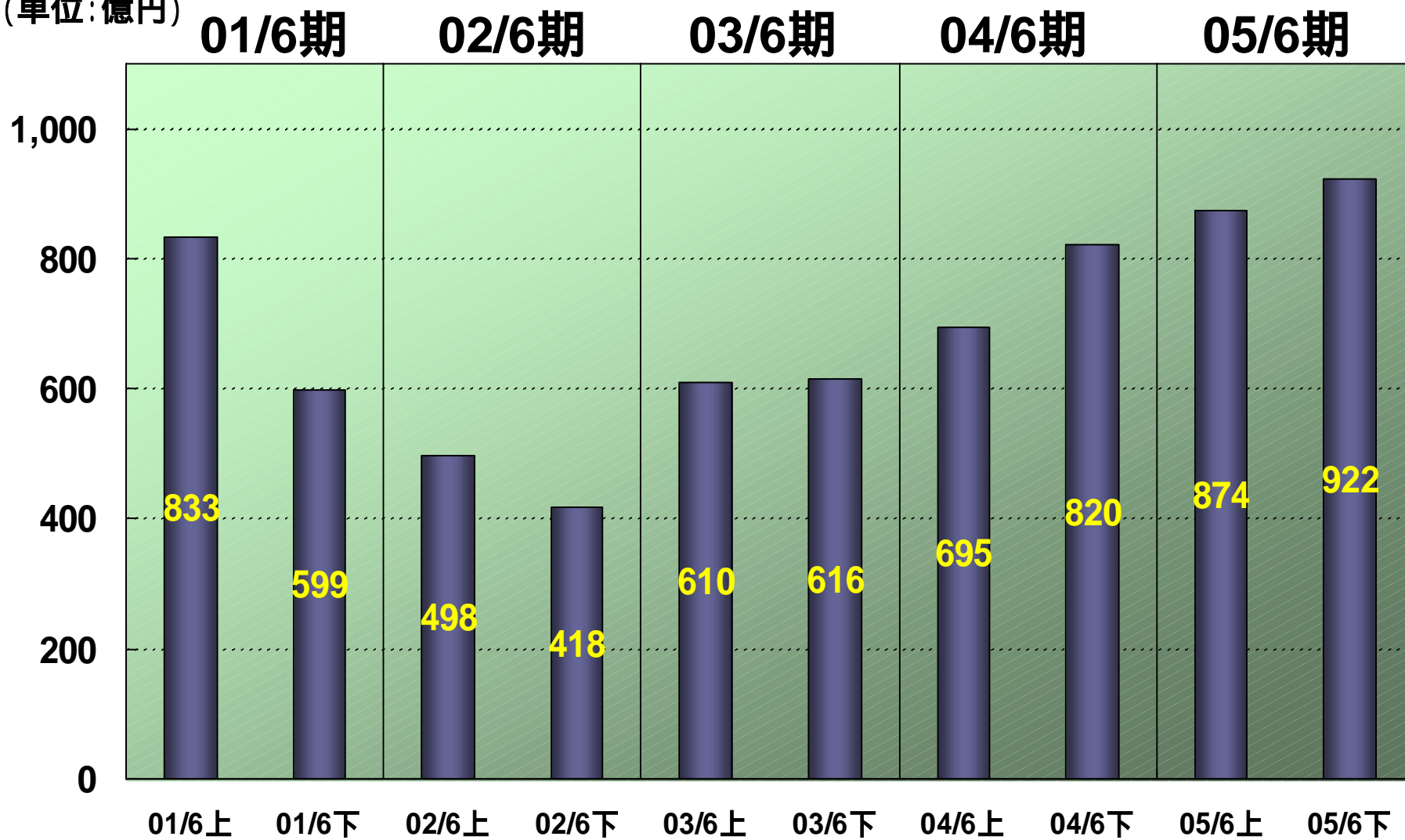
[()内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入]

受注高の推移 (連結)



受注残高推移 (連結)

(単位: 億円)



バランスシート(資産の部)

	05/6期	04/6期	増減
流動資産	1,472	1,369	104
現金及び預金	175	179	3
受取手形及び売掛金	686	664	22
たな卸資産	525	472	52
繰延税金資産	45	30	15
その他	44	27	17
貸倒引当金	2	2	1
固定資産	770	638	132
有形固定資産	539	463	76
建物及び構築物	228	207	21
機械装置及び運搬具	189	142	47
工具器具及び備品	22	19	3
土地	75	74	1
建設仮勘定	24	22	2
無形固定資産	44	24	20
投資等	187	150	37
投資有価証券	102	85	17
差入保証金	13	13	0
繰延税金資産	35	29	6
その他	40	25	15
貸倒引当金	2	1	1
資産合計	2,243	2,006	237

(単位:億円)

売上増による

期末受注残高増加による

韓国玄谷工場、大型ドライポンプ工場など

FPD・半導体製造装置関連などの評価機の資産計上による

関係会社投資
(韓国アルバック精密、PS Tech、中国アルバック天馬、アルバック中北、アルバック蘇州、アルバックロシア等)

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

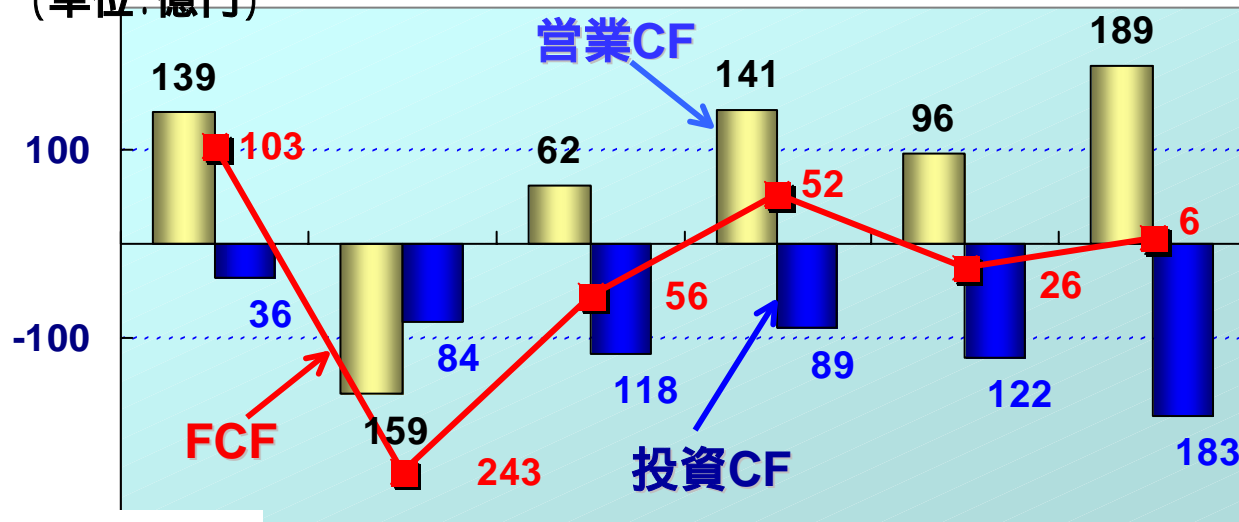
バランスシート(負債・資本の部)

	05/6期	04/6期	増減	(単位:億円)
流動負債	1,185	1,043	142	
支払手形及び買掛金	553	502	52	
短期借入金	320	348	28	● 営業CF増加にともなう返済
一年以内償還予定社債	25	5	20	
未払法人税等	47	26	21	
繰延税金負債	0	0	0	
賞与引当金	13	11	2	
製品保証引当金	23	23	0	
その他	203	128	75	
固定負債	282	349	67	
社債	2	27	25	● 社債償還
長期借入金	178	232	54	● 約定返済
退職給付引当金等	90	79	11	
役員退職慰労引当金	9	9	0	
その他	3	3	0	
負債合計	1,467	1,392	74	
少数株主持分	37	33	5	
資本金	135	90	45	● 04年12月増資による
資本剰余金	147	102	45	
利益剰余金	450	389	61	
その他有価証券評価差額	6	7	0	
為替換算調整勘定	1	5	6	
自己株式	0	0	0	
資本合計	739	582	157	
負債・資本合計	2,243	2,006	237	

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

キャッシュ・フローと有利子負債の状況

(単位:億円)



主要要因

営業CF: 189億円

- (04/6期に比べ93億円増)
- ・税引前
- 当期純利益: 54億円増
- ・前受金 : 28億円増

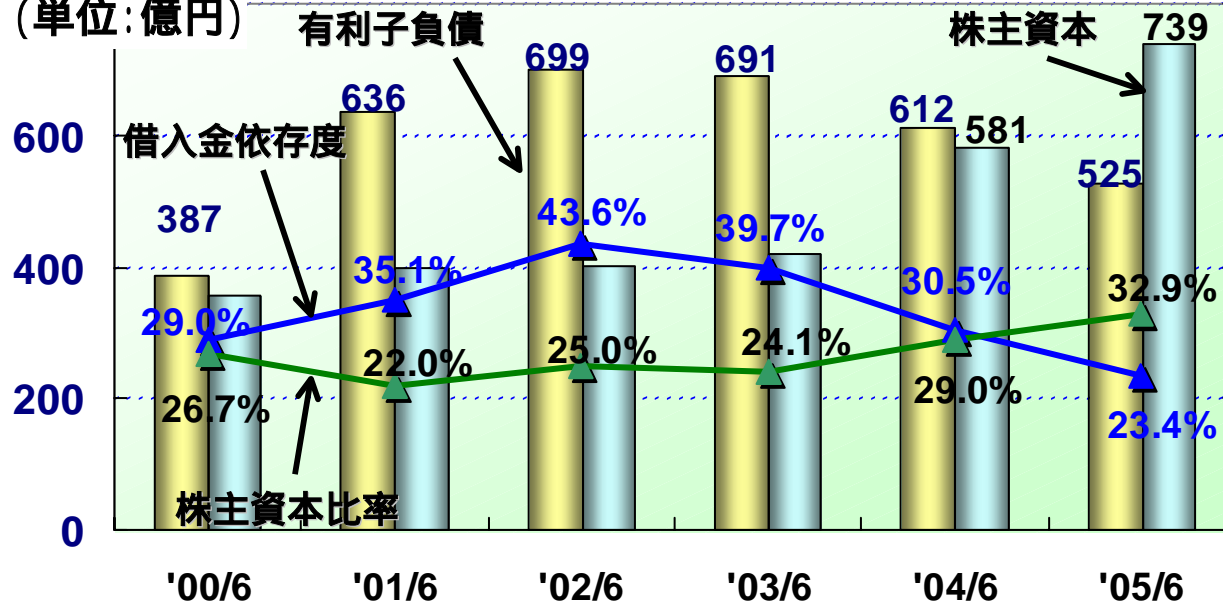
投資CF: 183億円

- (04/6期に比べ61億円増)
- ・固定資産 : 72億円増

株主資本増加要因

- (04/6期に比べ157億円増)
- ・増資資金 : 90億円
- ・剰余金増加 : 61億円

(単位:億円)



FY04LRGMTG050822J (小数点以下は四捨五入)

資金使途の総括 (05/6期)

■ 上場時(04年4月)調達資金 124億円

【上場時調達資金124億円のうち、05/6期の研究開発資金として繰り越した21億円】

▶ 研究開発資金 21億円(05/6期)

■ 増資(04年12月)調達資金 90億円

(05/6期)

▶ 研究開発資金 20億円

▶ 中国進出の資金 10億円

(06/6期)

▶ 研究開発資金 35億円

▶ 中国進出の資金 10億円

▶ Litrex残余50%株式取得 15億円

主な研究開発のテーマと成果

部 門	最近の主な開発分野	主な成果
ディスプレイ 及び電子部品 製造装置	液晶ディスプレイ (TV用大型基板、LTPS) 次世代ディスプレイ (有機EL、PDP、FED、SEDなど) デジタル家電関連 (光学膜、高密度実装など)	LTPS用レーザーアニール装置の開発 7G以降の製造装置の開発 (スパッタリング、インクジェットプリン ティング等) 大面積触媒CVDの開発 光学薄膜用デジタルスパッタの開発
半導体製造装置	不揮発メモリ、メモリ他 パワーIC(極薄ウエーハ) MEMS(微細電子部品)	MEMS用Siディープエッチングの開発 自然酸化膜除去エッチングの開発 次世代半導体スパッタの開発
コンポーネント	エネルギー・環境、バイオ	バイオセンサー(QCM法による大腸菌 検出)の開発
そ の 他	エネルギー・環境、 ナノテクノロジー	コンデンサー用巻取式真空蒸着 の開発 カーボンナノチューブ成膜装置の開発
その他の事業	新規機能性材料 (ナノテクノロジー)	有機薄膜用X線光電子分光分析装置 の開発 ナノ粒子インクを用いたインクジェット 法によるSiPの試作

事業展開について(中国)

- 愛発科東方真空(成都) 有限公司(アルバック成都)

▶ 家電、自動車部品漏れ探し装置他



新工場建設中(05/8竣工予定)

- 愛発科天馬電機(靖江) 有限公司(アルバック天馬)

▶ 真空ポンプ用部品



(05/5 竣工式典)

- 愛発科真空技術(蘇州) 有限公司(アルバック蘇州) 2期

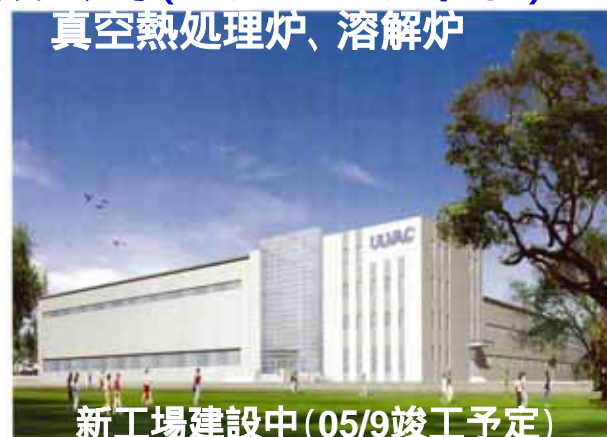
▶ 電子部品製造装置とカスタマーサポート



第2期工場建設中(05/8竣工予定)

- 愛発科中北真空(沈陽) 有限公司(アルバック中北)

▶ 真空熱処理炉、溶解炉



新工場建設中(05/9竣工予定)

事業展開について(韓国)

■ 韓国アルバック玄谷工場

- ▶ 7G以降液晶ディスプレイ製造装置用クリーンルーム



玄谷工場本格稼働開始

■ 韓国アルバック精密

- ▶ 液晶ディスプレイ製造装置などの大型部品製作加工工場



(非連結)

■ 韓国アルバック・クライオ

- ▶ クライオポンプ製造



(非連結) (05/9 竣工予定)

■ Pure Surface Technology

- ▶ スパッタ装置などのメンテナンス部品化学洗浄工場



(非連結)

事業展開について

- アルバック機工宮崎工場
 - ▶ 小型ポンプ信頼性評価センター



(05/5 竣工)

- アルバック精機第3工場
 - ▶ 大型ドライ真空ポンプ生産工場



(05/3 竣工)

- アルバック台湾
新竹サンプリングセンター



(05/5 開所)

- アルバックロシア設立



(非連結) (05/4 設立認可)

事業展開について(買収)

■ 富士通VLSI設備事業 譲受け完了(4月)

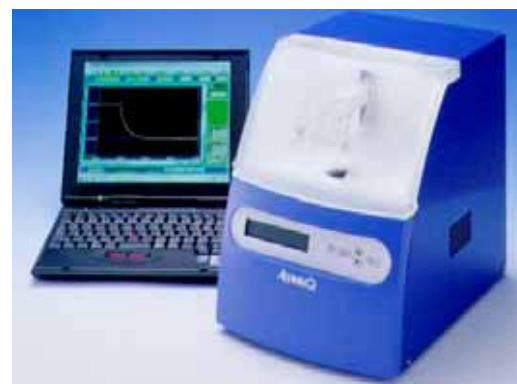
- ▶ ODF (液晶滴下注入装置)
をラインナップに加え、
FPDの受注拡大を狙う



液晶滴下注入装置

■ イニシウム子会社化 (3月) (非連結)

- ▶ バイオ分野での事業拡大



AFFINIX Q



AFFINIX Q4

▶ 2005年6月期連結業績の概要

▶ **市場環境**

▶ 2006年6月期連結業績予想

▶ 事業戦略

事業環境

■ ポジティブ要因

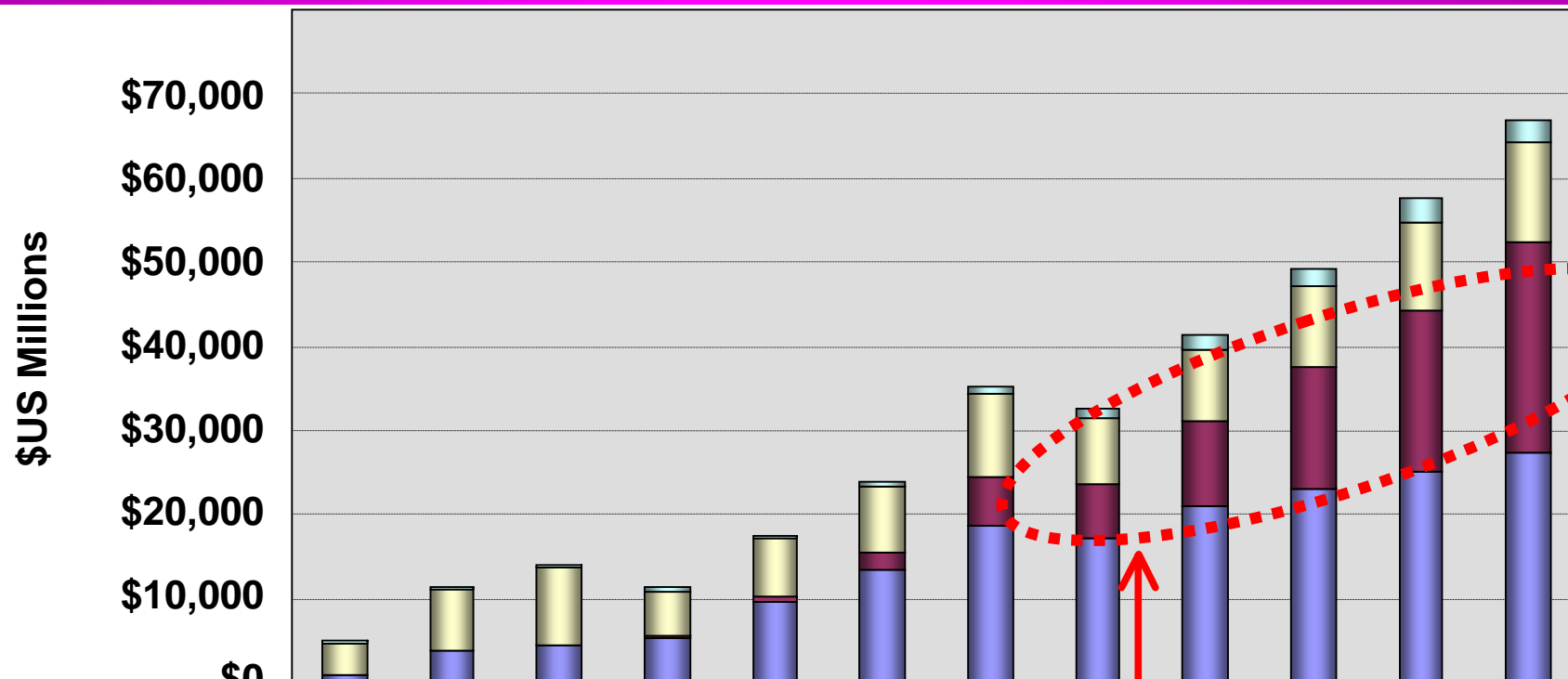
- ▶ FPDやデジタル家電の設備投資は、若干の減速局面があったが、全体的には堅調に推移
- ▶ 化合物半導体、ハイブリッドカーなど新しい分野で成長が開始
- ▶ 基板大型化、新しいデバイスなど新技術の開発が急激に進行
- ▶ 中国の成長が日本や世界経済に大きな影響を与える段階

■ ネガティブ要因

- ▶ 構造的なデフレが益々進行し、市場価格の下落が継続
- ▶ 韓国や中国の装置メーカーがシェアを獲得

グローバルな生き残りをかけた競争が激しさを増す

大型TFTLCD用途別市場規模 (金額)

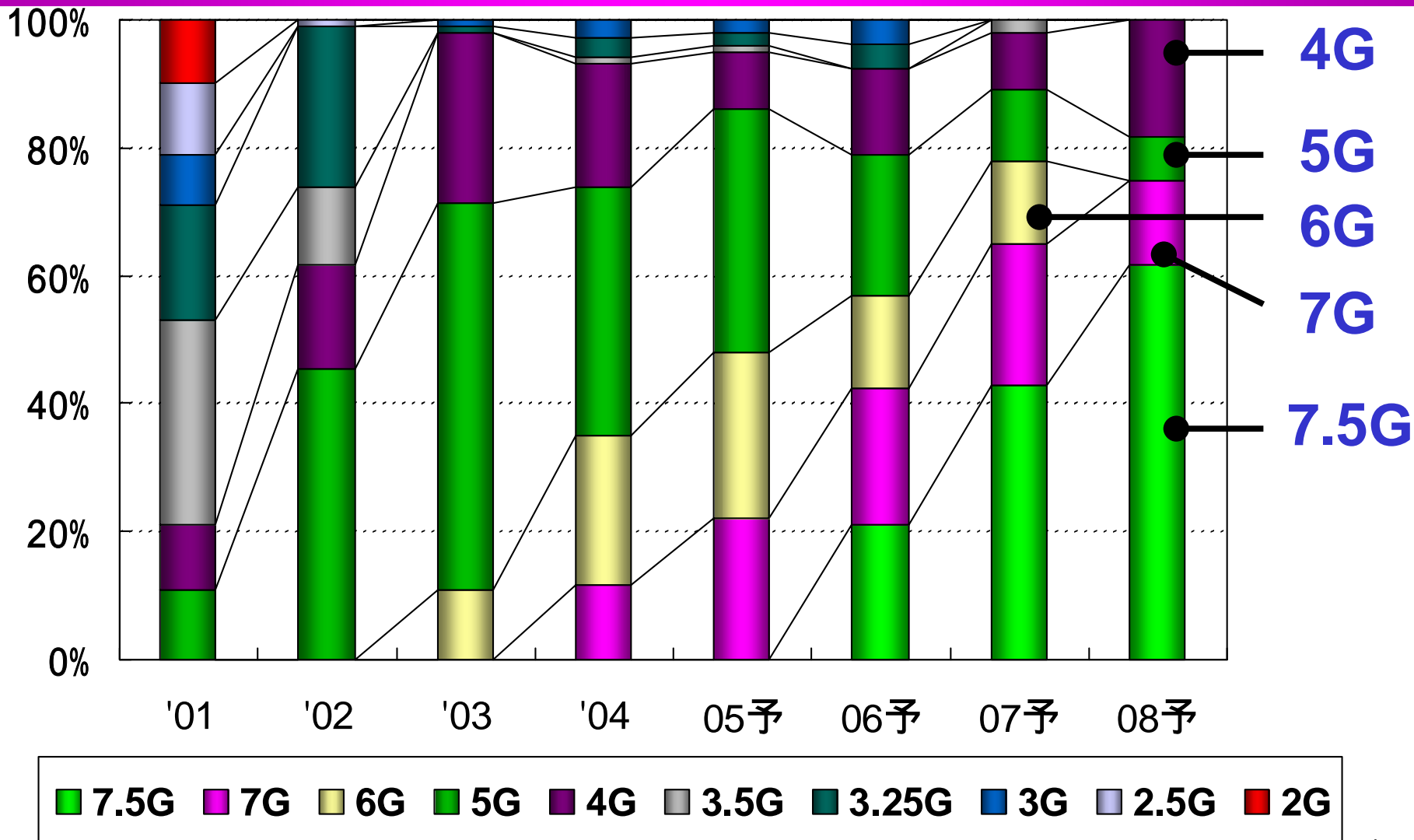


	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
Others	\$231	\$326	\$500	\$485	\$464	\$574	\$1,036	\$1,365	\$1,778	\$2,243	\$2,825	\$2,811
Note PCs	\$3,696	\$7,386	\$9,154	\$5,371	\$6,825	\$7,788	\$9,702	\$7,714	\$8,397	\$9,455	\$10,528	\$11,755
TVs	\$0	\$27	\$118	\$247	\$524	\$2,229	\$5,786	\$6,470	\$10,030	\$14,658	\$19,175	\$25,112
Desktop Monitors	\$1,014	\$3,687	\$4,262	\$5,255	\$9,678	\$13,331	\$18,694	\$17,093	\$21,019	\$22,902	\$25,092	\$27,375

5年間で3.9倍の成長見通し

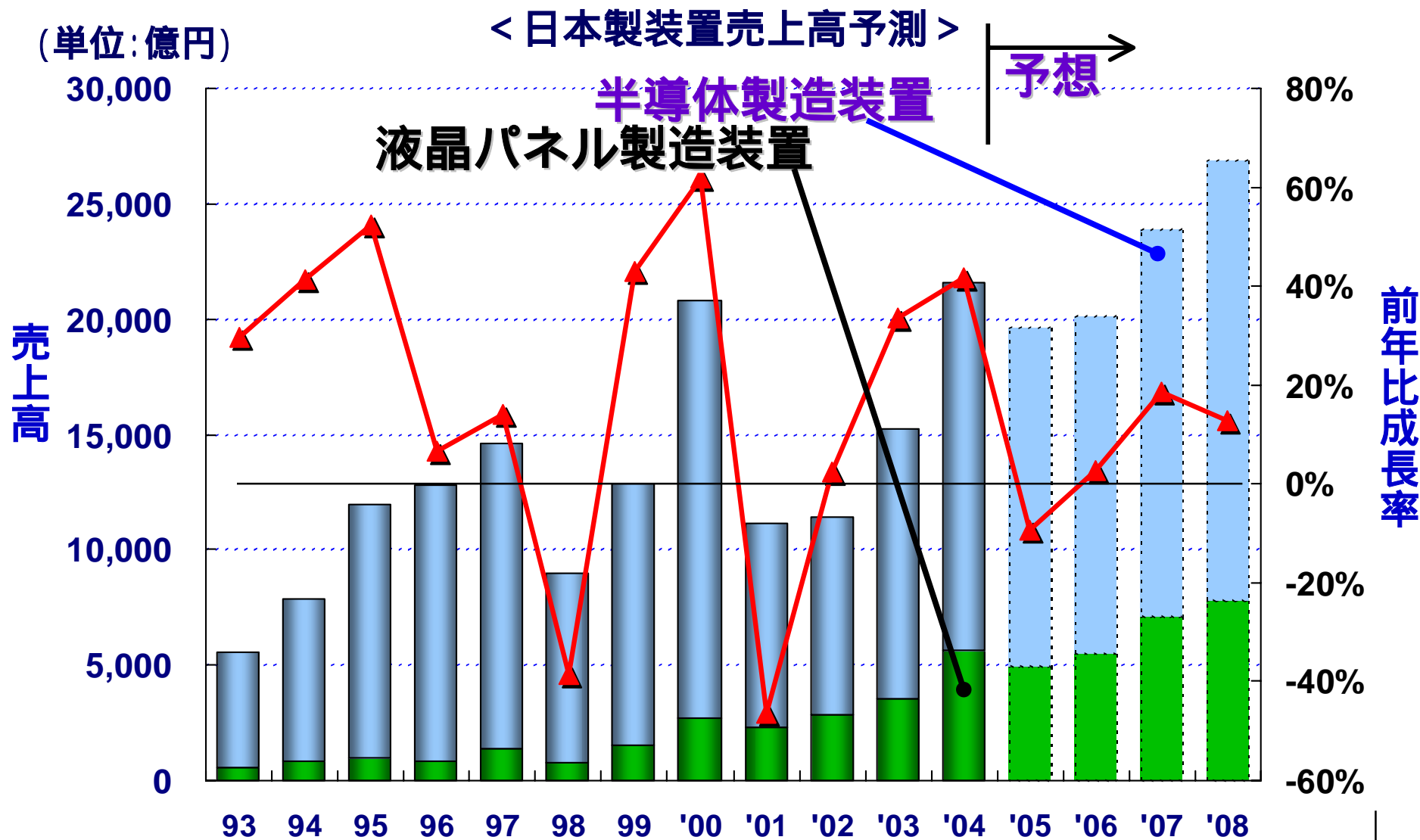
(出所: 2005年7月Display Search)

液晶ディスプレイ世代別投資



(出所: 2005年7月Display Search)

半導体および液晶パネル製造装置予測



(出所: 2005年7月 SEAJ)

(売上高: 日系企業(海外拠点含む)の国内および海外への販売高)

▶ 2005年6月期連結業績の概要

▶ 市場環境

▶ **2006年6月期連結業績予想**

▶ 事業戦略

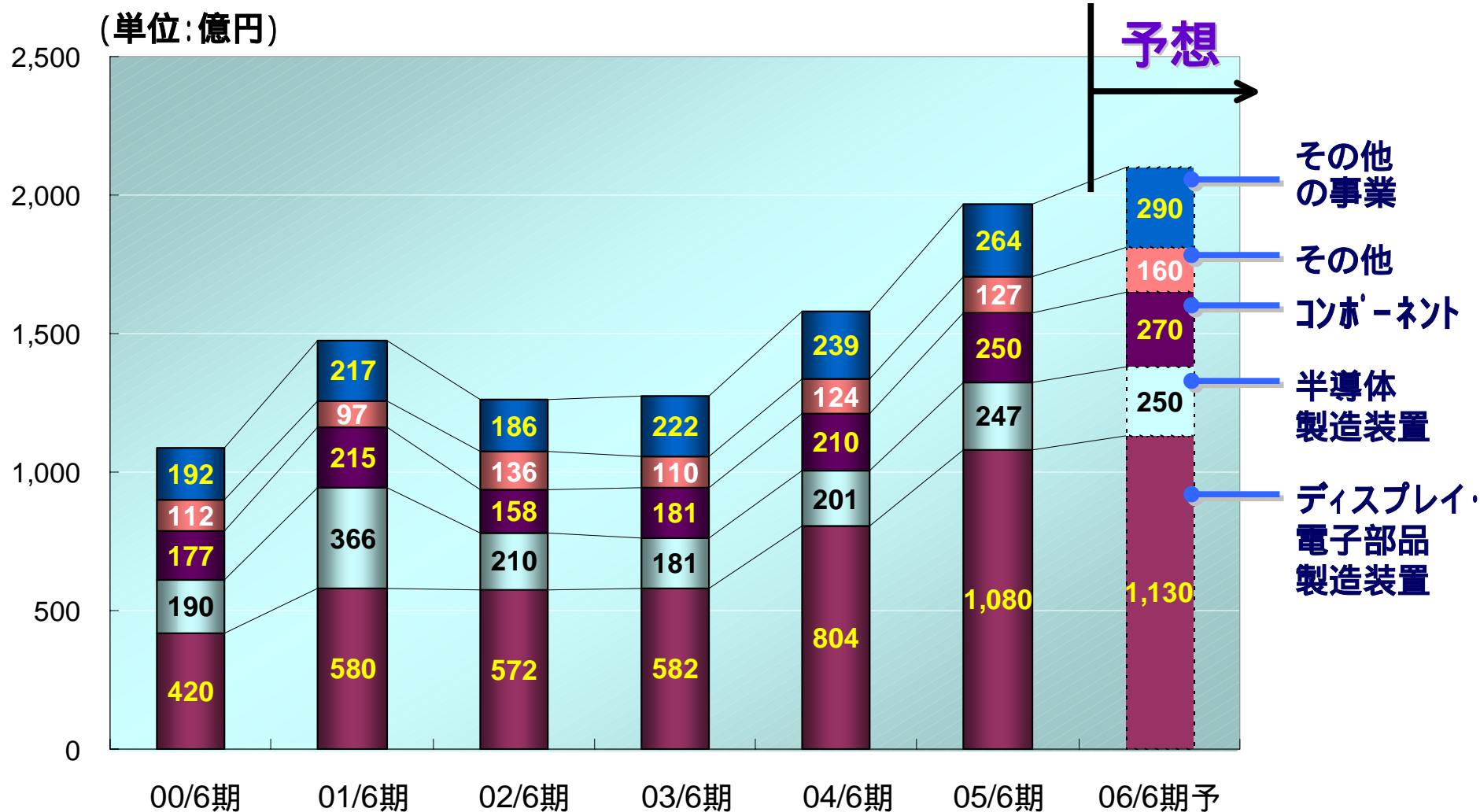
06/6期業績予想

(単位:億円)

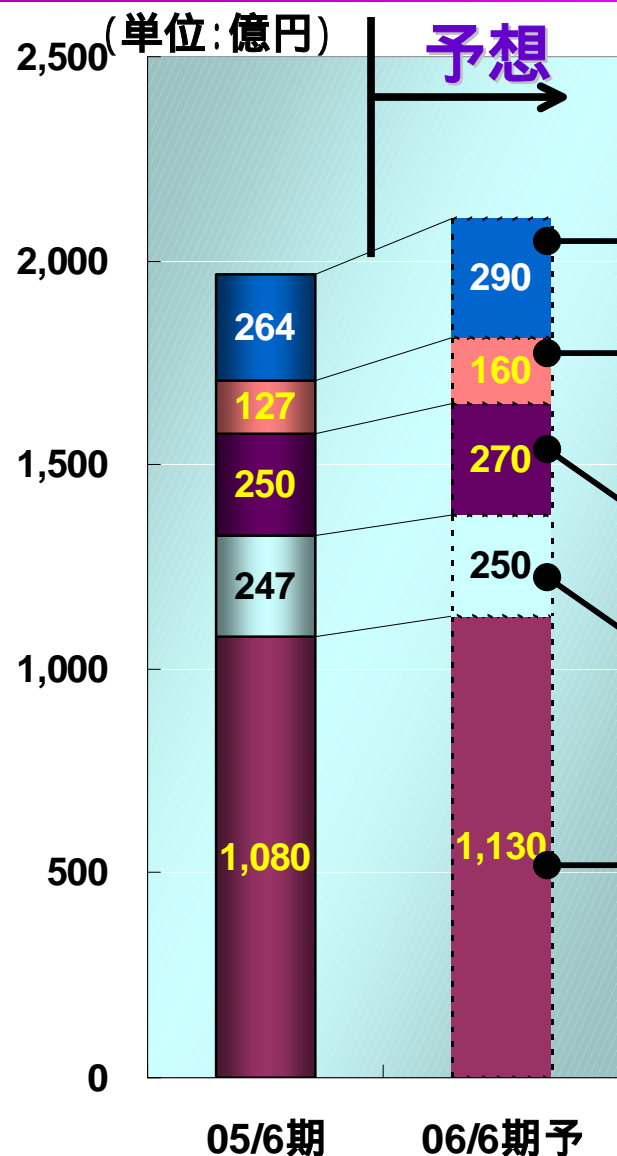
	03/6期	04/6期	05/6期	05/12 (中間)	06/6期
受注高	1,478 (+37%)	1,782 (+21%)	2,062 (+16%)	1,020 (+4%)	2,100 (+2%)
売上高	1,275 (+1%)	1,579 (+24%)	1,968 (+25%)	1,000 (+7%)	2,100 (+7%)
営業利益	47 (+104%)	85 (+81%)	153 (+81%)	28 (-65%)	131 (-14%)
経常利益	36 (+78%)	73 (+103%)	124 (+71%)	26 (-68%)	126 (+1%)
当期純利益	17 (+143%)	40 (+135%)	71 (+81%)	9 (-83%)	71 (-1%)

【()内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別売上高実績・予想



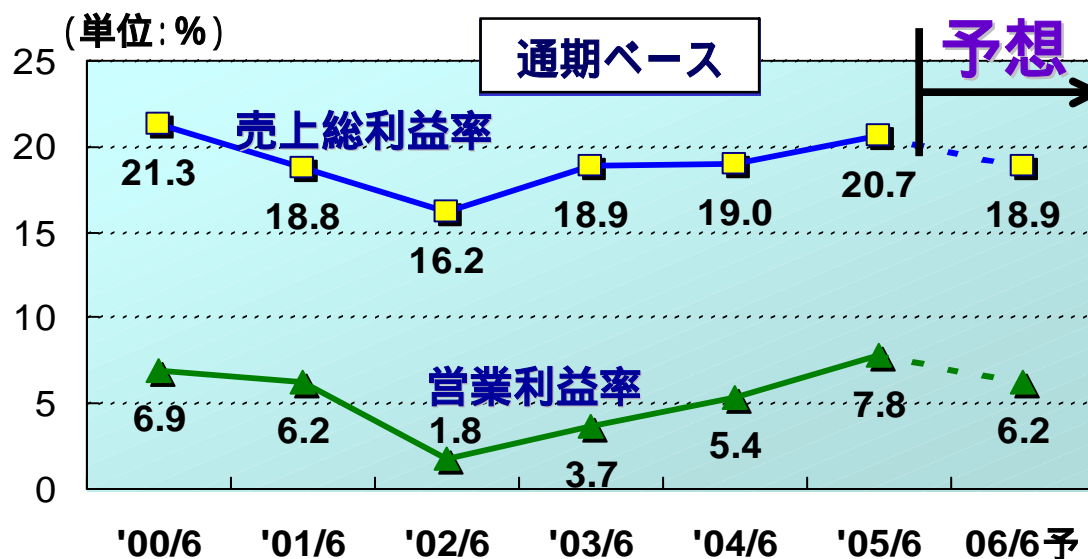
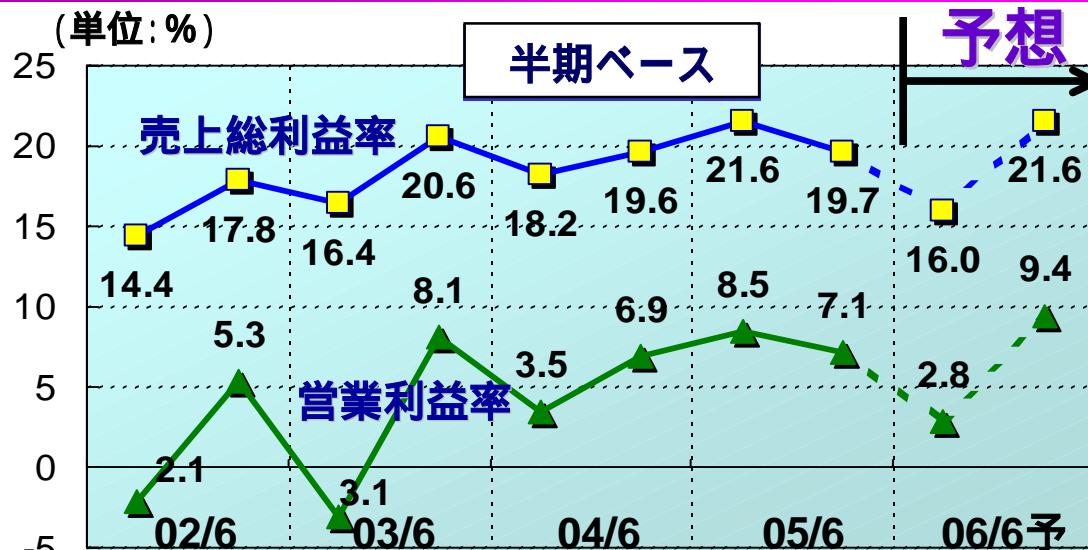
品目別売上高見通し



品目	増減率	主な売上品目
その他の事業	+10%	半導体・液晶用スパッタリングターゲット材、部品洗浄売上続伸
その他	+26%	・コンデンサー用真空蒸着装置 ・自動車関連や中国向け熱処理炉売上拡大
コンポーネント	+8%	・FPD製造装置用ドライポンプ ・自動車、家電、空調関連の真空ポンプ売上続伸
半導体製造装置	+1%	パワー半導体、フラッシュメモリ関連スパッタ、エッチング等微増
ディスプレイおよび電子部品製造装置	+5%	・液晶5G～7.5G以降(スパッタ、ODF等)は微増 ・次世代ディスプレイ売上拡大 ・電子部品製造装置売上拡大

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

利益率の予想



(小数点以下第2位は四捨五入)

06/6期利益率予想

▶ 装置販売価格の下落は5%程度を見込む

上期

: 6G~7Gのインストールが多く、追加原価発生を見込み、利益率が低下

下期

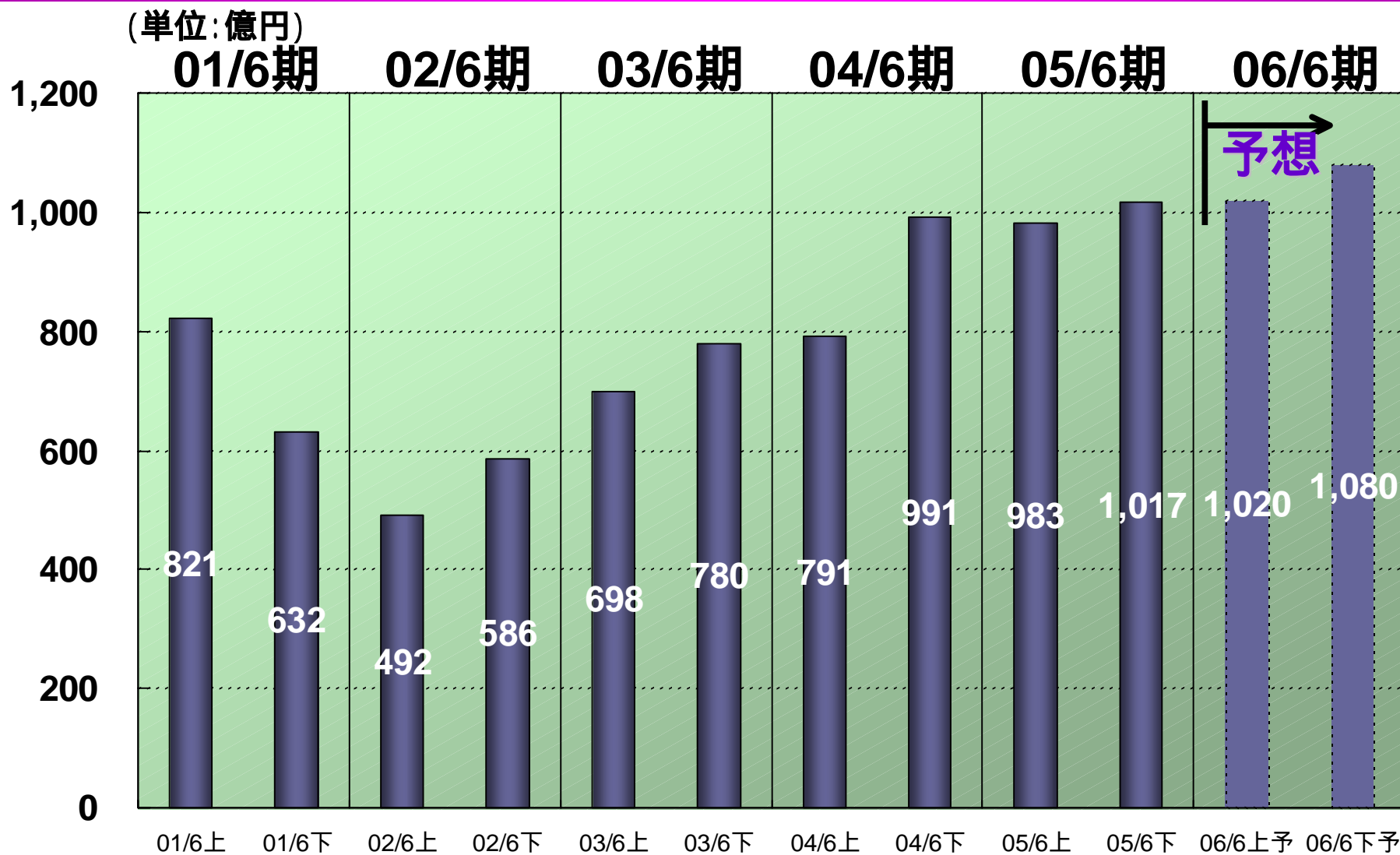
: 5G(中国・台湾)~6Gおよび材料、コンポーネントで利益下支え

: 7G以降(韓国・台湾・日本)で追加原価発生見込む

通期

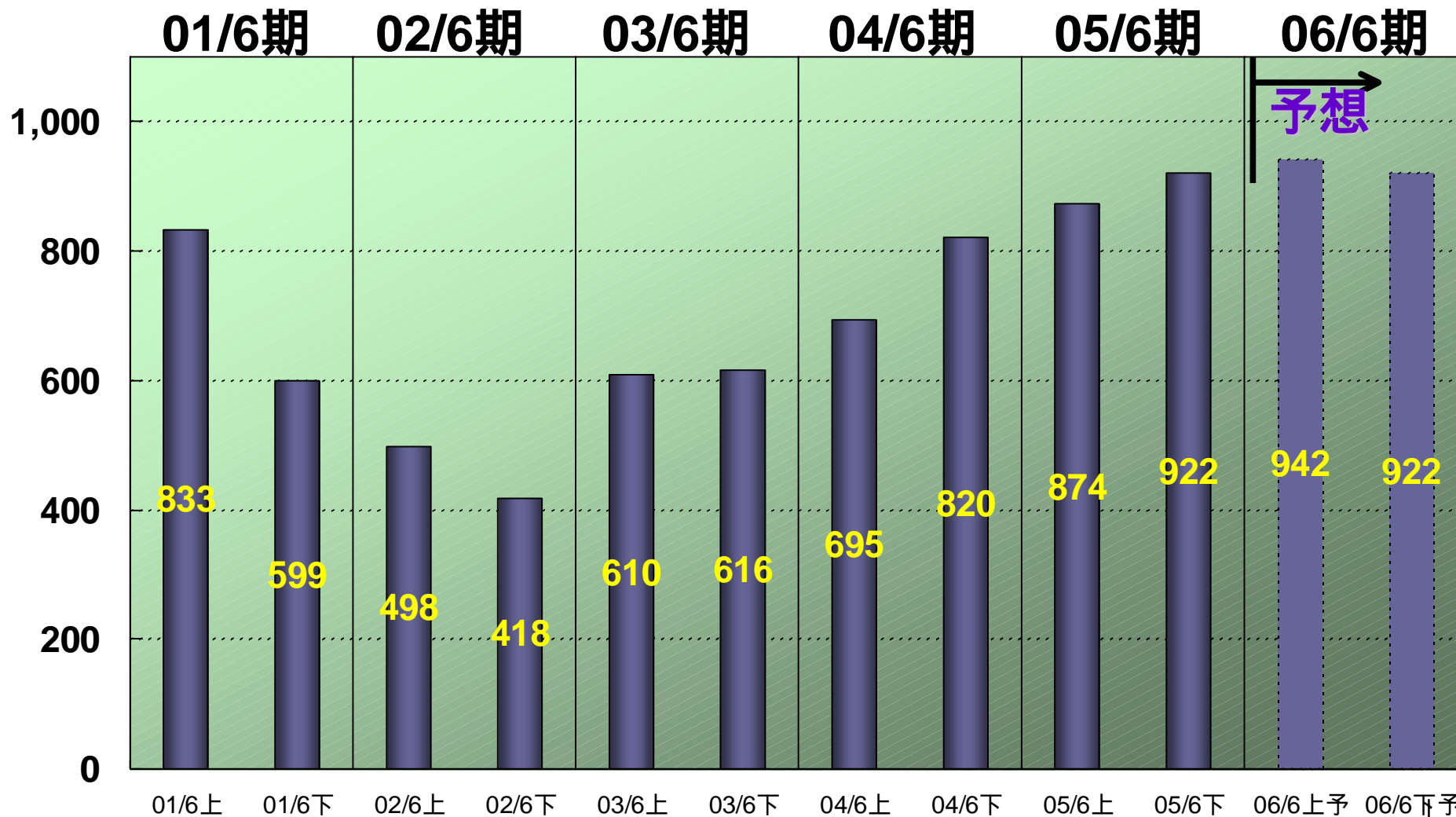
: コストダウン、標準化と固定費削減を継続し、利益率向上を図る

受注高実績・予想

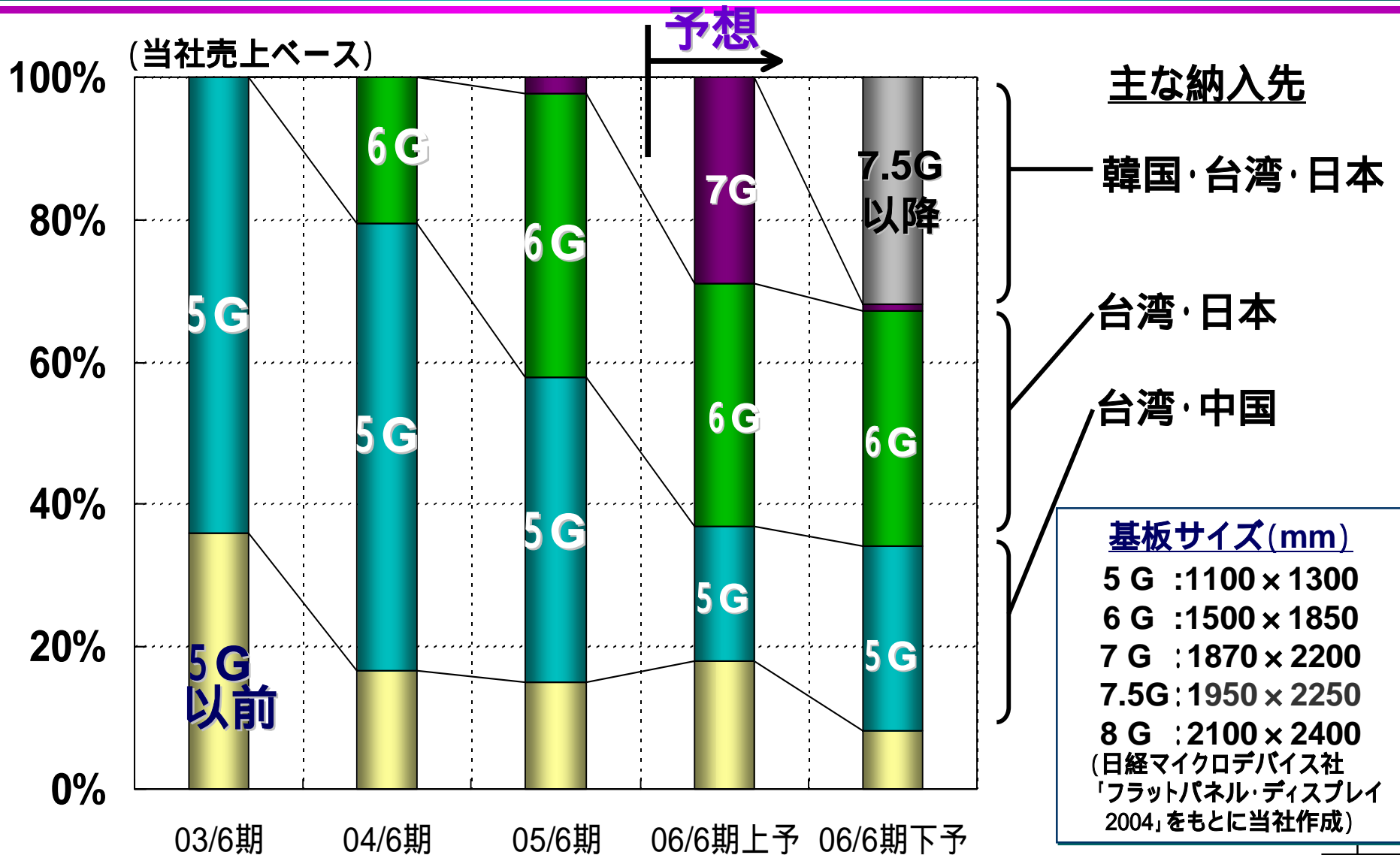


受注残高実績・予想

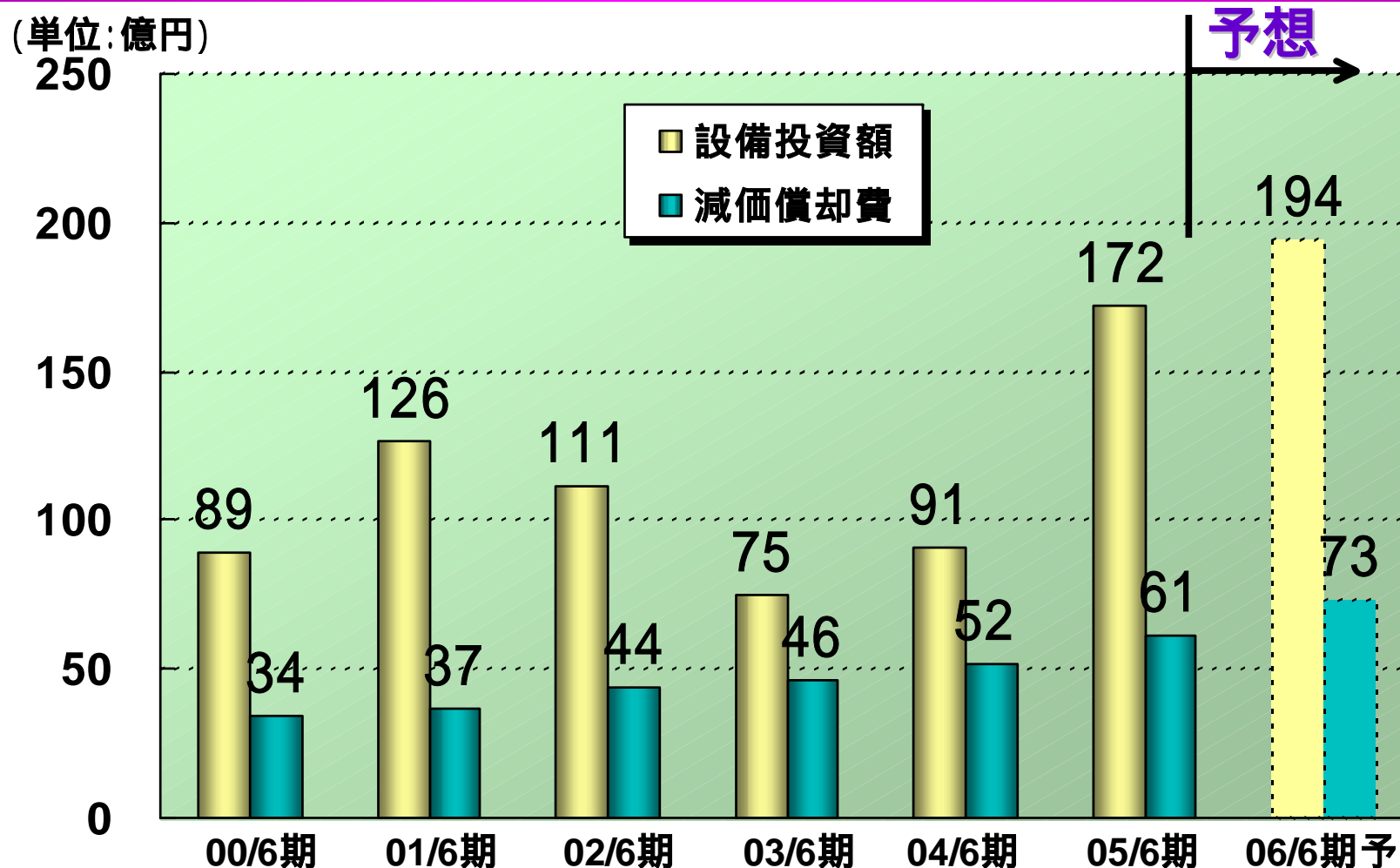
(単位:億円)



液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移



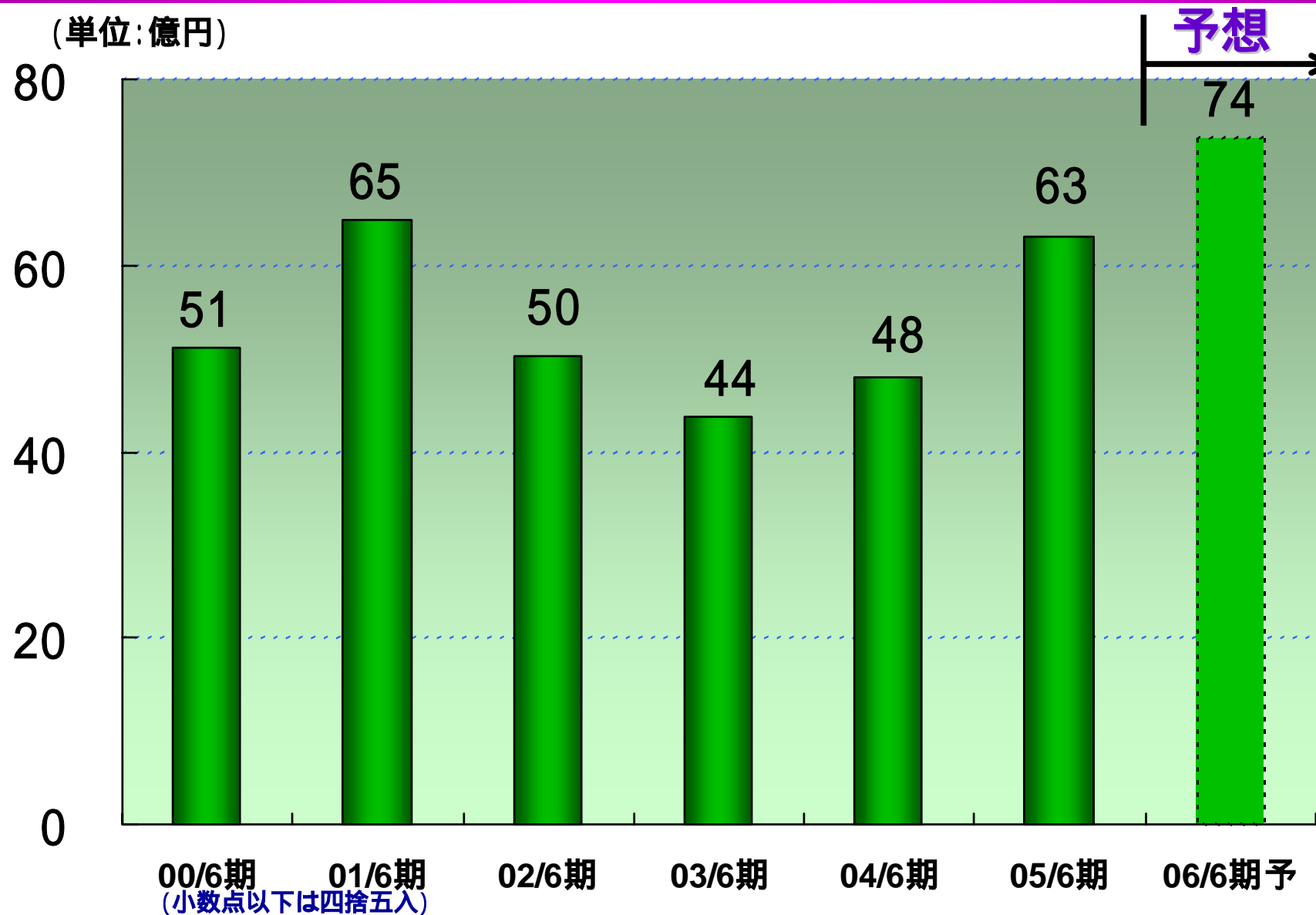
設備投資、減価償却費の推移(連結)



設備投資額	89	126	111	75	91	172	194
減価償却費	34	37	44	46	52	61	73

(小数点以下は四捨五入)

研究開発費の推移 (連結)



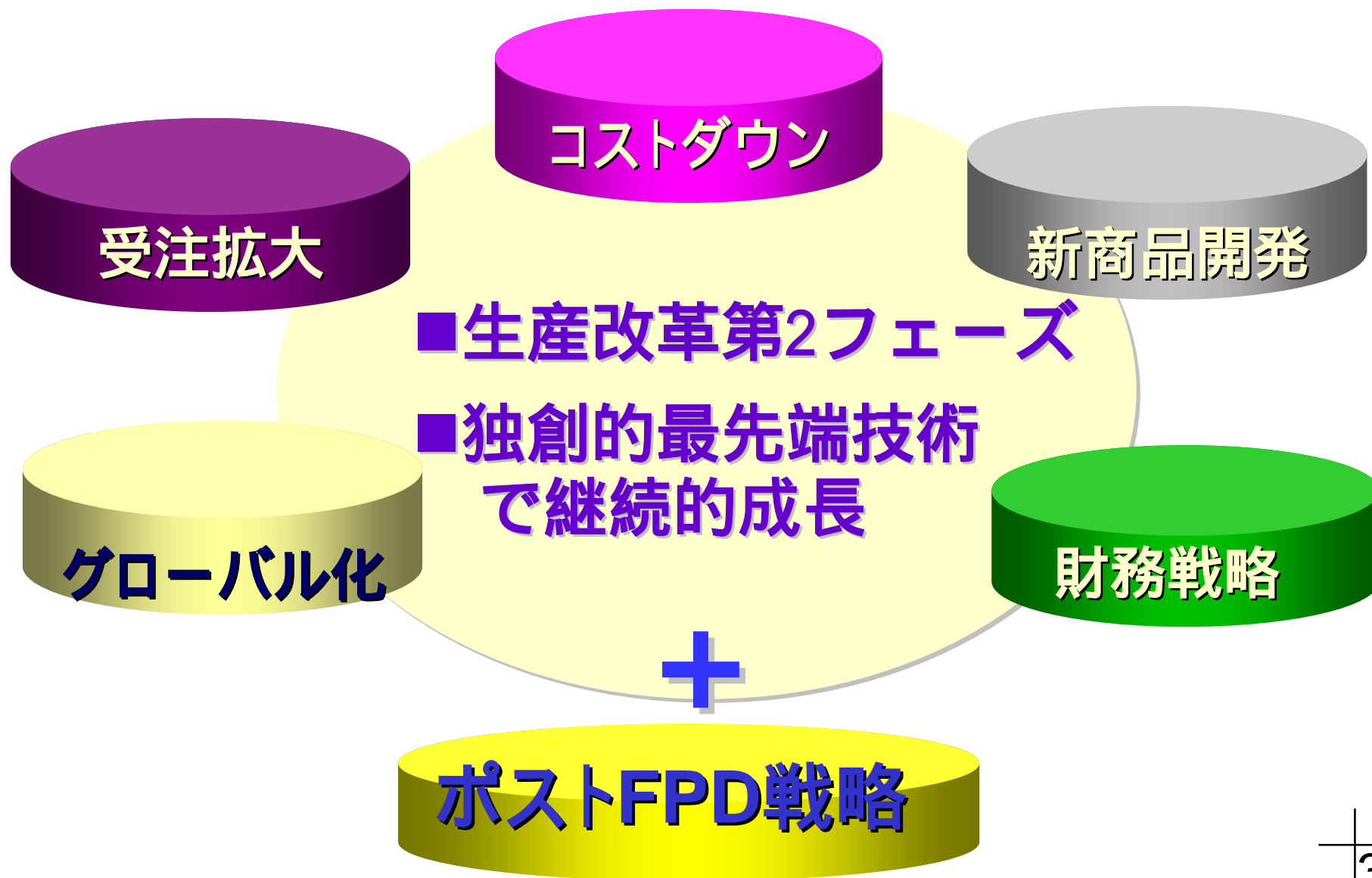
▶ 2005年6月期連結業績の概要

▶ 市場環境

▶ 2006年6月期連結業績予想

▶ **事業戦略**

事業戦略



1.ポストFPD戦略(受注予想)


項目と主な分野	05/6期	06/6期予	10/6期予
1.デジタル家電関連 光学膜、化合物半導体 MEMS、高密度実装など	62億円	約110億円	約260億円
2.ハイブリッド車関連 永久磁石、二次電池 コンデンサー、パワーICなど	37億円	約60億円	約120億円
3.中国市場*1 コンポーネント、一般産業機器 電子機器、FPD・半導体	50億円	約140億円	約520億円
4.CSビジネスとOEM生産 洗浄、部品、材料、サービス 光学膜OEM*2	490億円	約500億円	約900億円

注)*1: 05/6期は非連結の中国現地法人分含まず
 06/6期以降は中国現地法人含む

*2: 非連結

【上記の各項目の予想受注額は一部重複して合算されています。
 また、予想受注額は事業規模を判断するための参考値で、当社の連結受注額に合算されない額も含まれています。】

「ポストFPD戦略」成功へのシナリオ

1.	<u>デジタル家電部品</u> (ハイブリッドモジュール用)装置		調達資金で 開発を推進
2.	<u>ハイブリッドカー関連装置</u>		
3.	<u>世界の製造業を牽引する中国</u> ▶市場拡大のため中国で現地法人を設立 ■合弁(6社、うち製造子会社 5社) ■独資(2社)		
4.	<u>カスタマーサポートとOEM生産</u> ▶CS(カスタマーサポート)ソリューション工場の設立 ■稼動中:千葉、鹿児島、シンガポール、韓国・玄谷 ■建設中:中国・蘇州(05/8竣工) 台湾・台南(06/7竣工) ■検討中:中国南部、東南アジア等		

2.コストダウン戦略

■製造業の原点にもどり生産改革の推進

良い物を安く、速く、万全のサービスを提供しながら利益をあげる

■コスト競争力で韓国、台湾、中国を含めた全世界の競争相手に勝つ

■生産本部を核に攻守織り交ぜた施策の実施

▶守りの施策

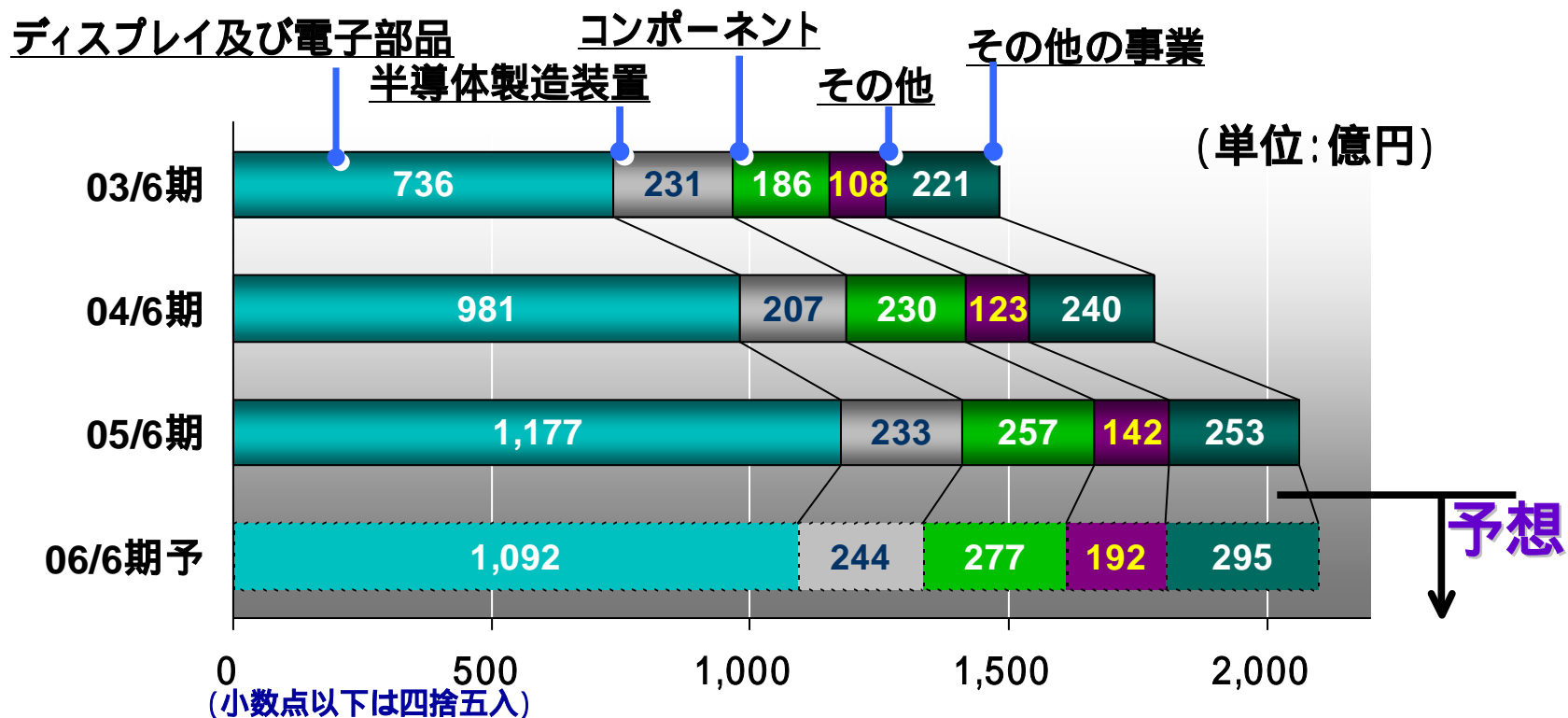
～追加原価の発生、納期遅延を抑制

▶攻めの施策

～コストダウンと納期(リードタイム)短縮

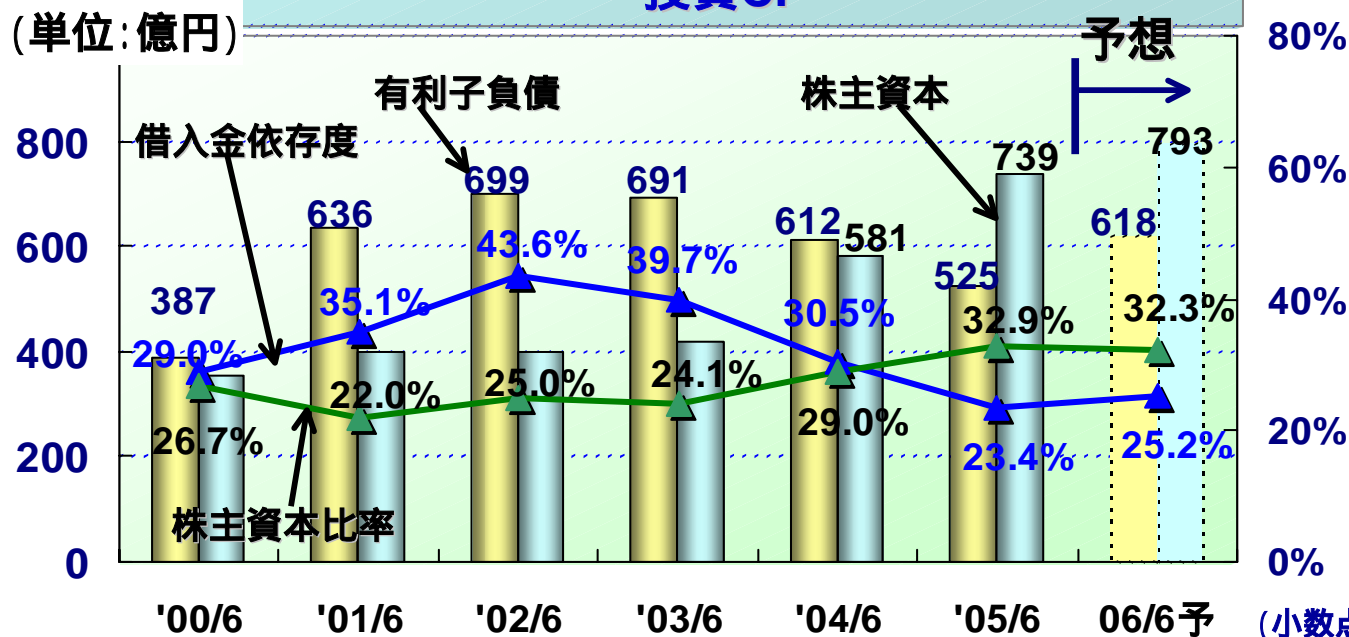
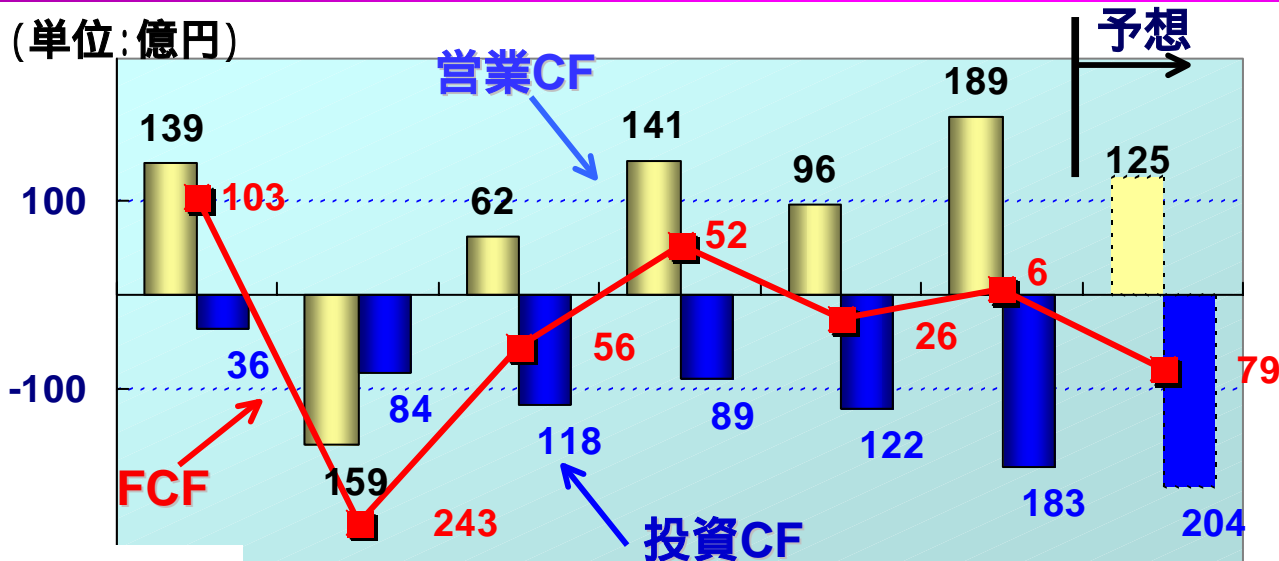
3.受注拡大戦略

06/6期受注高予想:2%増



- 既存分野 (FPD、半導体、コンポーネントなど) はラインナップを増やして受注拡大を図る
- 次世代技術、最先端技術の市場で拡販
- アルバックソリューションズで最大限のシナジー効果

キャッシュ・フローと有利子負債の状況



主要要因

・営業CF: 125億円

下期での売上が多く
予想され売上債権の
増加等が見込まれる
ため

・投資CF: 204億円

中国進出による投資が
増加するため、20億円
増加の予想

5.新商品開発戦略

品目	デバイス	主な開発装置	最終製品
ディスプレイ及び電子部品製造装置	液晶ディスプレイ (a-Si TFT, LTPS TFT)	7G以降スパッタ・プラズマCVD・ ODF・インクジェットプリンティング	薄型TV 
		固体レーザーアニーリング	携帯電話、デジカメ 
	プラズマディスプレイ	大型、ハイクト真空蒸着	薄型TV 
	有機EL	高分子:インクジェット装置 低分子:真空蒸着	デジカメ 携帯電話、MP3プレイヤー 
	光学膜	多層膜光学膜スパッタ	薄型TV、デジカメ 
半導体製造装置	デジタル家電関連 デバイス	真空蒸着、スパッタ、エッチング スパッタ、エッチング	LED  デジカメ、フラッシュメモリ 
	化合物半導体 MEMS	深堀エッチング ハイブリッドモジュールエッチング	レーザーダイオード バイオ 
	パワーIC	極薄ウエーハ用イオン注入・スパッタ	ハイブリッドカー 
コンポーネント		大型ドライポンプ、表面形状測定器	薄型TV 
その他	強磁性体磁石	真空熱処理、真空溶解炉	ハイブリッドカー 
	コンデンサー	巻取式真空蒸着装置	

主な今後の投資予定

■台湾新会社設立(台南工場)

- 液晶ディスプレイ製造装置会社
 - 資本金 15億円
 - 事業目的
 - ▶大型液晶ディスプレイ製造装置生産
- カスタマーサポート会社
 - 資本金 10億円
 - 事業目的
 - ▶装置部品製作
 - ▶部品表面処理(洗浄)
 - ▶真空装置ユニット製作など
- 敷地面積 約9,700坪
- 竣工予定 2006年7月～2007年1月
- 設立場所 台南科学工業園区内



投資提携調印式(2005年8月8日)

ULVAC

本日は
ありがとうございました